



2025 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 光 陽 社
代 表 者 代表取締役社長 犬養 岬太
(コード番号：7946) 東証スタンダード
問 合 せ 先 業務本部部長 小川 杏介
(TEL. 03-5615-9064)

第 4 次中期 3 カ年経営計画 (2025 年度～2027 年度)

I. 前中期経営計画について (業績目標の達成状況)

(単位:百万円)

項目	2022年度			2023年度			2024年度		
	業績目標	実績	差額	業績目標	実績	差額	業績目標	実績	差額
売上高	4,200	4,301	101	4,400	4,494	94	4,600	4,726	126
営業利益	20	27	7	80	71	△ 9	160	60	△ 100
営業利益率	0.5%	0.6%	0.2%	1.8%	1.6%	-0.2%	3.5%	1.3%	-2.2%
経常利益	50	89	39	100	108	8	180	103	△ 77
経常利益率	1.2%	2.1%	0.9%	2.3%	2.4%	0.1%	3.9%	2.2%	-1.7%

2022 年度をスタートとした中期経営計画では、計画初年度及び 2 年度目において想定通りの進捗を遂げ目標を若干ながら上回ることができました。

一方で、最終年度である 2024 年度においては、新規事業等への投資による減価償却費の増加、原材料価格の高騰や、顧客の広告費抑制傾向により営業利益を圧迫した結果、売上高は目標を達成したものの、各段階利益においては目標を下回る結果となりました。

II. 新中期経営計画 (2025 年度～2027 年度) について

次期中期経営計画では、引き続きエシカルな経営姿勢のもと、経済、環境、社会それぞれのニーズに応えられる製品とサービスを提供し、新規開拓と既存顧客の深耕に注力するとともに、環境に配慮したサービスの普及を図り、持続可能な社会の実現と採算性の更なる向上を目指します。

1. 経営理念

お客様に喜ばれる“良いものづくり”を通じて、社会の進歩発展に貢献すると共に、全従業員の働きがいと幸せを追求する。

2. 行動指針 (社訓)

誠実 常に誠意をもって人に接する

創意 常に創意工夫を志す

確実 常に確実に職務を遂行する

3. 業界動向

当社が主力とする商業印刷業界は、景況に大きく左右される業界であり、世界情勢の混乱による資源不足など不安材料が多い中、広告宣伝物の発注量減少や厳しいコスト競争に巻き込まれる可能性を秘めています。その一方 SDGs や脱炭素化など、持続可能な社会を実現させるための動きが世界的に広まっており、コストだけではなく、環境貢献、社会貢献に繋がる製品や、サプライチェーン全体を通した自社内の業務負担の軽減および合理化に繋がる製品を求める企業も増加しています。

4. 主要戦略

(1) 営業戦略（新規開拓及び既存顧客深耕の推進）

- ① カーボンゼロプリント、カーボンニュートラルプリント等、当社ならではの環境配慮型印刷の推進
- ② 企画・製版・印刷・製本加工・発送に至る自社内の一貫生産体制を活かした提案営業
- ③ デジタルマーケティングやダイレクトメールの顧客への提案力強化
- ④ 長年製版で培ったスキルを基にした高品質印刷技術の提案

(2) 品質・生産性強化、コスト削減策

- ① 生産方法や設備、材料の見直しによる脱炭素化に向けた取り組みの強化
- ② SDCA の標準化サイクルを回した品質・生産性の向上を図る標準化プロジェクトの推進
- ③ 日々の作業を通じ、改善対策を繰り返すことによるムダの削減
- ④ 各工程における自動化の推進

(3) 環境対応への深化

- ① 全事業所の再生可能エネルギー100%化を維持し、Scope3 の CO₂ 排出量削減にも取り組む
- ② カーボンニュートラルプリントの普及拡大と、顧客への環境配慮型印刷の提案強化
- ③ 日本サステナブル印刷協会との連携を深め、業界全体の環境意識向上を図る

5. 連結業績目標

	(単位:百万円)		
	2026 年 3 月期	2027 年 3 月期	2028 年 3 月期
売上高	4,750	5,000	5,200
営業利益	70	110	150
営業利益率	1.47%	2.20%	2.88%
経常利益	100	140	180
経常利益率	2.11%	2.80%	3.46%

以 上